

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2017/07/10 ～2017/08/03)

1. 勉学の状況

到着してから約1週間後の17日からセメスターが始まりました。交換留学生が1セメスターに取れる単位数が最大60単位(4授業)で、わたしは課題に追われたくないな、と思い、45単位分の3授業を取ることにしました。授業名は”Language and Culture”, “Phonetics”, “Language Learning Processes”です。それぞれの授業に大きな課題が2つずつあり、最後にテストを受けるという流れです。その課題はもう少し先なのですがそろそろ始めなくてはいけないのでどうしようか途方に暮れています。しかし、先生も他の受講者も親切にしてくださるので、頼りまくりつつ、なんとか頑張りたいです。また、毎回の授業のたびに難しめなリーディングの宿題が出るので正直、早くも英語をもう見たくないです。

ちなみにマッセイ大学はおそらくすべての授業でstreamという千葉大でいうmoodleが使われています。そこに授業のスライドも、宿題のリーディングも、課題やその締め切りもすべて見れるといった感じです。授業でわからなかったことがあっても復習で大体は補えるので助かってます。

あとは勉学においても生活においてもですが、英語力が最優先だなと感じます。授業でもグループ内で意見を言わなければいけない状況で、どう表現したらいいのかわからずに会話が止まってしまうこともしばしばです。英語力はすぐには上がるものではないですが、粘り強くコミュニケーションをとる姿勢を持ち、徐々に授業でもリラックスできるようになりたいと思っています。

2. 生活の状況

ニュージーランドに到着してから3週間半ほど経ちました。最初は誰も話せる人がいないし、どこに何があるのかもわからないし、信号の渡り方もわからないしで激しくホームシックになり、毎日日本にいる友人や家族にビデオ通話してもらっていました。しかし1週間ほど経つと少しずつ新しい生活に慣れ、銀行口座の開設や生活に必要なものも調達でき、リズムをつかめてきました。

まずは食事についてです。私はキャンパス内の寮に住んでいて、夜ご飯だけ食堂で食べられるプランを選んだのですが、こちらの食事の量が夕飯では食べきれないので、持ち帰り用の容器にあらかじめ詰めてもらい、残った分を次の日の昼食に食べています。食事のために使うお金がほぼないので、節約できます。

こちらに来てからそんなに数は多くないのですが、友達もできました。寮に住んでいる

学生のほとんどがニュージーランド人ではなく、他国から来ている人ばかりです。同じフロアだけでもアメリカ人、インド人、中国人、ベトナム人など、国際色豊かです。しかし日本人はほぼいません。心細くはありますがポジティブに捉えて頑張ります。週末は一緒に UNO をやったり、映画を見たりして楽しい時を過ごしています。なぜトランプじゃなく UNO なのかはわかりません。個人的には大富豪がやりたいですが世界的には UNO ブームみたいです。

寮ではいろんなイベントを企画してくれます。ニュージーランドの文化を紹介するパーティーやボードゲームパーティなど、英語が下手でも楽しめるようなものも用意してくれるので助かっています。

これまでで新しい生活に慣れてきたので、これから少しずつ行動範囲を広げたいと思っています。今週末はオークランドのシティの方に行ってみるので、楽しみです。来月、報告できたらと思います。



↑夕食兼昼食



↑オークランドは天気がコロコロ変わるので虹の出現率が高め



←キャンパス内にお寿司屋さんがあったのでインド人の友達と食べてみました。お箸の使い方に苦戦していました。

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2017/8/5 ～2018/9/4)

1. 勉学の状況

ニュージーランドに来てから約2か月が経過し、自分でもその速さに驚いています。勉強の方はちょうど今、学期の前半と後半を区切る、2週間のお休み中です。休みに入る前にそれぞれの授業で課題やテストがありました。

Language and Culture では、1200語程度のエッセイを書きました。テーマは子供はお母さんとの会話を通して、どのように特有の文化に適応していくのかについての意見を4つのリーディングマテリアルを読んでまとめる、というものでした。4つのうちの1つが日本人についてだったので、どういふ母との会話によって日本人はNOと言えないようになるのか、とか間接的な言い回しをどのように子供は理解できるようになるのか、など面白い論文で、読んでいて苦痛ではありませんでした。課題を先生に提出する前に表現がおかしいところや、構成を直した方がいいところなどをオンラインでフィードバックをくれるサービスを使えるので、提出する前にそこに送って見てもらってから先生に提出するようにしています。ちなみにこのサービスはマッセイ大学が提供しているので安心して使えます。なんとかエッセイは書き上げられたので一安心です。

Phonetics では、ブレイクに入る前に、1時間のテストがありました。内容は授業内の知識の応用で、手ごたえはまずまずという感じです。後半からは acoustic phonetics といって、音声をパソコンのソフトを使って分析するので、楽しみです。授業だけでは完璧に理解できないので、ブレイク中に予習しています。

Language Learning Processes では、前半の大きな課題は低クオリティではありましたが無事終わりました。テーマは自分で決めてよかったので、日本人の英語学習のモチベーションについて調べてまとめました。自分も含めて日本人の英語力は世界的に見ても低いと言わざるを得ないと思います。その原因の一つとして、日本人は英語の授業以外で英語を話す機会がほぼないことが挙げられます。つまり英語学習のモチベーションが上げにくいということになります。このことについて論文などを読み、まとめました。次の課題は自分でアンケートやインタビューなどで調査して、それをまとめなければいけないので、苦勞しそうです。報告書を書いていたらそろそろ始めなきゃまずいんじゃないか、という危機感が湧いてきました…。授業自体は予習さえすれば楽しめる内容なので、あとは課題との闘いです。頑張ります。

2. 生活の状況

9月になり、少しずつ気温も上がってきました。私も行動範囲を先月よりは広げられ、シティの方やビーチ、オークランド最大級のショッピングモール、プールに行ったりして、楽しめました。ショッピングモールには友達と一緒に初電車に乗って行ったのですが、初フィッシュアンドチップスを食べたり、友達に勧められ日本では絶対買わないだろうな、という服を購入したりしました。日本人のファッションの感覚とは少し違う部分があるので少し抵抗はありましたが、逆に新鮮でもありここに来たからできた経験でもあるな、と感じます。

また、先月から大学内にある、ジムに通い始めました。ランニングが中心なのですが、様々なウェイトトレーニングやスポーツのできるコートもあります。先日初めてコートを使い、バスケをしました。私はバスケをやっていたので、他の国の人と一緒にプレイできるのが感動でした。スポーツなら言葉が通じなくても楽しめるので、そこもスポーツ万歳な点です。

こちらに来て2か月がたちましたが、まだまだ英語には苦勞します。最初に比べたらリスニングもスピーキングも少しは良くなったかなと、感じることもありますが、まだまだ自分の言いたいことを一番いいタイミングでさらっと言うことはできないし、冗談も言えないのもどかしいです。それでも私のことを友達として大切にしてくれる人たちに感謝しています。だんだん一緒に過ごす人が安定してきて、居心地はいいです。しかしここで友人関係を絞ってしまわずに、もう少し積極的に友達を増やしたいな、と感じます。以前にマッセイに留学していた先輩の報告書を読み返し、自分から話しかけて友達になった、と書いてあるのを見て、案外自分から話しかければ友達になれるんじゃないか、と前向きになることができました。一年間しかない留学期間、後悔しないように自分の殻を破って頑張ろうと思います。



海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2017/9/4 ～2017/10/4)

1. 勉学の状況

9月11日からまた授業が始まり現在は授業が始まって10週目に入りました。時が過ぎるのが早すぎて自分が全然成長できていないような気がして、少し焦りを感じている今日この頃です。また、12週で授業が終了し、テスト勉強期間に入るので各授業の課題に追われつつも何とかひとつひとつこなしていっています。受講している3つの授業の進行状況は次の通りです。

Language and Culture

この授業は本当に楽しいです。毎回のトピックすべて面白いです。今週は使用している言語によって世界の見方が変わる、というような内容でした。例えば私たちは人を言葉を使って誘導するときに5歩進んで左を向いて、まっすぐ進んで右を向いて3歩進んで...というように誘導しますが、違う言語を使う人には左や右という言葉ではなく、東西南北や、川の流れる方向など、絶対的なものを使って誘導する方法を取る人もいます。学生たちは東西南北で先生に誘導されたのですが、東西南北を自分の中で、こっちが北だから西は左だ、という風に置き換えて向きを決めていました。面白い以外の何物でもありません。課題の締め切りが近いので頑張っています。課題も面白く、英語以外を第一言語とする人に言語に関するインタビューを行い、言語が反映する文化について分析するというものです。私は中国人の友達にインタビューをしたのですが、とても興味深かったです。まだ終わっていないのであと数日頑張ります。

Phonetics

先々週で音声分析ソフトを使った楽しい授業が終わってしまい、悲しいです。と言ってもスペクトログラムという音声をグラフ化したものを読み取る初歩の初歩なのでマスターには程遠いですが...。この授業の課題は授業で習った知識を応用して問題を解くようなものなので、パズルを解いているみたいで楽しいです。あとはミドルセメスターブレイクの前に受けた試験の結果が返ってきました。何とか合格できたので、この調子であと一か月、気を引き締めて頑張りたいと思います！

Language Learning Processes

正直言うとこの授業が一番理解できていない気がします。授業の前にパワーポイントが見れるので、予習は欠かさずしているのですが、いまいちという感じです。しかし日本人の私が大活躍する回がありました。コミュニケーションを取りながら言語を学んでいく指導法を授業の中で実践し、周りの学生は皆英語が第一言語なので、私が日本語の先生になってコミュニケーションを取りました。日本語の知識が何もない状態なので、フラストレーションを感じている学生もいて気まずかったですが、これは日本における英語学習と同じなので考えさせられました。1週間後に課題の提出が迫っているので頑張ります。

2. 生活の状況

9月に入り、コートがいらなかな、くらいの気温になってきましたが日本ほど四季がはっきりしていないので春という実感が全く湧いてきません。夏も暑くても23度くらいだと聞いたので過ごしやすいのはいいですがなんとなく物足りなくも感じてしまいます。

先月書いた、もう少し友達の幅を広げたいという悩みですが、少しずつ実行しています。授業が同じイギリスからの留学生に授業終わりに声をかけました。コミュニケーション力の高い人にとってはなんでもないことかもしれませんが私にとっては大きな一歩でした。少しずつハードルを上げていって、最終的に大きく成長できたらな、と思います。

ここからはイベントをまとめていきます。

誕生日

私事ですが先月は私の誕生日があったので、友達にサプライズでお祝いしてもらいました。素敵なプレゼントやデコレーションした部屋、ケーキを用意してくれ、素敵な時を過ごしました。そのあとは日本食レストランに行って皆で日本酒を升で飲んだり、久々の日本食を食べて最高の一年のスタートを切れました。ちなみに日本酒は美味しくはないけどすぐ酔えるからいいね、というのが留学生仲間からの感想でした。。。



オークランド一人旅

はじめてまるっきり一人ぶらり旅に出ました。旅と言ってもバスで一時間くらいで行ける、街中の方に行って港でぼーっとヨットや船を見たり、クイーンズストリートでお買い物したり、オークランド博物館に行ってマオリの文化ショーを見たり、ホリー・トリニティ大聖堂に行ったりしました。ニュージーランドに来る前に母からガイドブックをプレゼントでもらっていたので、大活躍しました。特に感動したのはオークランド博



物館で見たマオリの踊りや歌でした。ラグビーのオールブラックスで有名なハカも間近で見ることができ、迫力に圧倒されました。また、意外だったのがこの博物館の3階が戦争に関する展示物の階で、本物のゼロ戦が展示されていたことです。この旅のおかげで一人で旅をする不安がだいぶ減ったので、夏休みの自由時間を使ってもっともっとニュージーランドを探索したいな、と思いました。今更ですが、ニュージーランド、本当にいい国です。



マッドラッシュ

寮の周りの泥を使って泥の中を滑り降りたり、落ちたら下が泥だらけの綱渡りをしたり、勉強を忘れて泥だらけになれるイベントがありました。基本的にインドア派なのですがこの時ばかりは外で思いっきり遊ぶ楽しさを実感しました。泥だらけになった服はなかなかきれいにならなかったので潔くお別れしました…。日本ではなかなかない経験だと思うので、参加してよかったと思

います。

ランチパーティ



Phonetics の授業の後にみんなで持ち寄ったお菓子やケーキ、サンドイッチなどをシェアしてプチパーティのような感じでお昼を食べました。その授業はあまり友達が多くない授業なのですが、このランチをきっかけに少しだけ話すことができるようになって嬉しかったです。

余暇



夜ご飯を食べた後や夜の空いている時間に共有スペースにある海外っぽいサッカーゲームや、モノポリーというゲームが最近はやっています。モノポリーは初めてやったときはルールがよくわからなくて適当にやっていたのですがなぜか優勝しました(笑)



先月は印象的だったものはこのくらいです。後半は勉強がメインだったのでそこまで遊ぶことはできませんでしたが、あと一か月頑張れば夏休みなので、今のうちから計画を立ててワクワクしています！

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2017/09/04~2017/11/3)

Kia ora! (マオリ語でこんにちは) フィンランドに留学中の友達の真似をしました。

1. 勉学の状況

無事に第2セメスターすべての授業が10月20日に終わりました。最初は不安で仕方がなかったのですがやってみれば何とかなるんだな、と感じています。しかし千葉大学のように期末のテストを授業内に行うのではなく、最後の最後まで授業をしっかりとやって、その後に1週間のテスト勉強期間が設けられています。そしてテスト期間が2週間設けられており、その期間の中で授業ごとに何時からどこで試験を行うというのをポータルで見てテストの教室に行く、という感じです。テストを受けるには筆記用具を透明のジップロックに入れていかないといけないし、バッグも自分のそばに置かずに預けます。3つの授業のうちLanguage and Cultureのテストを今までに終えて、現在は残りの2つのテストのために勉強意しています。そして以前にも触れたのですが、マッセイ大学の学習に関するシステムが充実していていいな、と思います。その一つが期末テストの過去問題が大学のサイトから見れるということです。同じ問題が出ないですが学習のポイントを押さえてテスト勉強に取り組めるのでとても便利です。また、課題の評価も丁寧で自分が提出したワードファイルにピンポイントでコメントを書いてフィードバックが返ってくるのでとてもためになります。

それぞれの授業については以下のとおりです。

Language and Culture

この授業の先生が面白いし授業の内容も日本の文化の話もよく出てくるので、楽しかったです。来年もう一つこの授業の先生の授業を取るのもまた会えるのが楽しみです。テストは2時間で3つのトピックについてのエッセイを書くもので、一応全力は出しましたが、単位を頂けることを願うばかりです。

Phonetics

最後の方の授業はニュージーランド人の発音についてで、正直何がイギリス英語と違うのかよくわからないところも多く、難しかったです。しかしよくわからない顔をしていたら友人が「わかる?」と言って授業の後に教えてくれたので助かりました。もう少しでテストなので発音記号を必死で覚えているところです。英語以外の発音が過去問にバンバン出ていたので不安でしかないですがテストを乗り越えれば自由が待っているので頑張ります。

Language Learning Processes

この授業は言語習得についての授業なのですが、いまだに「これ」という正解が出しにくい曖昧な部分が多いので、改めて言語の不思議さを痛感します。こちらは一週間後にテストがあるので頑張ります。

2. 生活の状況

今月は課題やテストに全身全霊を注いでいたのであまり自由な時間を設けられず、部屋か図書館で過ごす時間がほとんどだったためたわいもないことを書きます。

意外と日本食には困ってません

キャンパスの近くにお寿司屋さんや、コリアンマートがあるので、意外と日本食は食べています！右の写真はドラゴンロールという名の照り焼きチキンロールです。生魚はサーモンくらいですが日本のお米の触感を味わえるだけで幸せです。コリアンマートには韓国の食べ物はもちろんインスタントのお味噌汁とかうどんとかも売っていたので感動して色々買いました。私が住んでいる寮は食堂で食事のプランを申し込んでいる人用の寮なのでお湯や電子レンジはあるのですがコンロがありません。食堂の料理もおいしいですが、さすがに毎日食べていると飽きてきてしまうので、2月からはできたら食事プランがついていない自炊できる寮に移りたいな、と考えています。



テストが終わったら…と毎日考えています

勉学の状況の方でも触れた通り、あと2回テストを受けたら今学期終了です!!一つのテストが2、3時間なのであと5時間を乗り越えればニュージーランド散策できます!!お金や交通手段の問題もありますが許す限り思いっきり楽しみたいと思います。千葉大学の1学期が終わってからすぐにこちらに来て授業だったので、一足遅い夏休みです。また、1か月ほどニュージーランドを満喫した後は2か月ほど日本に帰り、家族と年越しをすることしました。せっかくの留学期間を日本に帰ってしまうのはもったいないかな、と葛藤もあったのですがほとんどの友達が母国に帰ってしまうので4か月間一人ぼっちはさみしいと思い、一度帰ることに決めました。こちらにいる期間が短くなる分、一日一日をより濃いものにできるよう頑張りたいと思います。

カヌカハニー

偏った食生活のせいか肌荒れが起こってしまいました。モールに行って、ニキビ用の薬を探していたところ、カヌカハニーというものを発見しました。マヌカハニーはニュージーランドのお土産にもよく選ばれる美容効果のあるものなのですが名前が似ているから同じようなものだろうと思い、せっかくなので使ってみることにしました。すごくびっくりしたのですがこのカヌカハニーのにおいが納豆そのものだったのです…。頑張って使い続けていますが効果は表れないのでやっぱりカヌカハニーじゃだめなのか、と気づきました。皆さんもニュージーランドに来たと



きはマヌカハニーとカナカハニーを間違えないように気を付けてくださいね。

今月は本当にこもりっきりだったので大したことを書けなくて残念です…。来月は自由なので色々報告できたらと思います！では！

←友達の部屋のドアに落書き

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2017/11/4 ~ 2017/12/5)

Kia ora!

ニュージーランドに来て早 5 か月が経とうとしています。時の早さに戸惑いつつも毎日元気に過ごしています。今月は先月と打って変わって自由な時間がとても多い月だったので、旅行記のようになります…。

1. 勉学の状況

先月の報告書では毎日期末試験のために勉強に追われているという状況をお伝えしたのですが、11月9日にすべての授業の試験が終わりました。すべてといっても3つしか授業を取っていないので一つの授業の試験勉強にかけられる時間が十分にあって充実していたと思います。交換留学生は授業の上限が4つまでなので、来学期は要領もつかめてきたので4つ授業を取り、かつ日本語を勉強している学生さんがマッセイ大学にもいるので、その授業にボランティアで参加できたらいいな、と考えています。まだ教授などとはお話していないのでどうなるかわかりませんが、実現したいです。

テストについては先月もお伝えしたように厳重な環境は全ての試験共通で、緊張感があります。Phonetics と Language Learning Processes のテストがあったのですが、出来はまずまずという感じです。頭では理解していても解答用紙に英語で書くとなるとどういう言い回しをすれば理解できていることを伝えられるかも考えながら回答しなくてはならないので少し手間取ってしまいます。しかしとりあえずは全ての授業にしっかりと出席し、試験も無事終えられたのであとは結果を待つのみです。12月14日に全授業の成績が出る予定です。

テストが終わってからは一度も勉強せず、旅行や遊びに行っていました。

2. 生活の状況

11月は基本的にはNetflixでHow I met your motherというアメリカのドラマを見て楽しみながら英語の勉強をしているか、近場にお出かけしているか、旅行しているかでした。なんてゆとり生活なんだと自分でも思います。

ロトルア

ロトルアは私が住んでいるオークランドからバスで約3時間半くらいのところにある人気の観光地です。地熱活動が盛んで、マオリ文化の聖地ともいわれている場所です。ここでは迫力満点のマオリのショーを見たり、実際にマオリが住んでいるマオリ村を見学したり、ロトルア湖の周りを散歩したり、テ・プイアというところで壮大な間欠泉を見たり、羊と戯れたり、泥風呂に入

ったり。。とても充実した3泊4日の旅でした。今の時期はサマータイムの期間なので、夜の9時でも普通に明るくて活動できる時間が長くてとてもうれしいです。



マオリのショー



本物の羊ちゃん



テ・ピアの間欠泉



アグロドームの羊ショー



ガバメント・ガーデン



マッド・スパ

南島旅行

今も旅行中なのですが、クイーンズタウンを中心に、南島を旅行しています。クイーンズタウンまではオークランドの空港から 1 時間半ほどなので、簡単に来ることができます。ニュージーランドは日本に比べると鉄道があまりなく、移動手段は長距離バスが主となっています。クイーンズタウンに 2 泊、テカポに 2 泊、クイーンズタウンに 2 泊というプランです。ロトルアもとてもよかったです。クイーンズタウンはロトルアとはまた違う魅力があるきれいな街です。市街地から一歩出ると芝生の上にかわいい羊がもこもこ、むしゃむしゃと草を食べていて、癒されます。オークランドにいと、人間よりも羊の数の方が多いということが信じられませんが、ここに来て納得できました。クイーンズタウンでは 360 度回転するジェットボードやスカイダイビング、ゴンドラなど、自然を満喫しました。その後星空で有名なテカポに行きゆったりと過ごしました。星空ツアーにも参加し、北半球との違いなどを説明してもらいました。しかし快晴にも関わらずガイドブックで見ていたように満点の星空ではなかったのも、あの写真はカメラの性能とプロの腕によってできる技なのだとなり残念です。しかし私が今までに見た湖の中で最もきれいだったと思った湖を見れたことはとても感動でした。ミルフォード・サウンドにも行きました。あいにくの雨でしたが切り立つ山の上から流れ落ちる滝の迫りに圧倒されました。



クイーンズタウン ワカティブ湖



スカイダイビング



- 5 度のバー



真っ青なテカポ湖



ミルフォード・サウンド

といった感じでニュージーランドを満喫した一か月でした。この旅行以外にもビーチに行ったり動物園に行ったり、楽しい一か月でした。12月9日から2か月ほど日本で過ごし、またニュージーランドに帰ってきます。日本で充電してまた後半も頑張りたいと思います。

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2017/02/19 ~ 2017/03/03)



Kia ora!

一時帰国からニュージーランドに戻ってきました！日本にいる友達や家族に会うことができ、とてもいいリフレッシュになりました。後半戦に差し掛かったので気を引き締めつつ後悔がないように楽しみたいと思います。

←ワイヘキ島へのフェリーからの写真

1. 勉学の状況

4か月という長い夏休みが終わり、Semester 1 が 2 月 26 日からスタートしました。今学期は 4 つ授業を取ろうと思っていたのですが、時間割がかぶってしまったのでやむなく 3 つになりました。それに加えて、日本語の授業にアシスタントとしてボランティアで参加させてもらえることになりました。先生もとても親切にしてくださるのでとても居心地のよい時間です。それについては取っている授業ではないので生活の状況の方で詳しく書きますね。

私が今期取っている授業は

172.133 Introduction to Language Studies

172.235 Linguistic Analysis of the English Language

172.131 Language and Communication

です。ちなみに先生は先学期と全く同じでどの先生もとても明るく親切なのでありがたい限りです。また相変わらず、すべての教材がオンラインで手に入れられるのは便利で、予習復習がしやすい環境が整っていると感じます。

まだ 1 週目が終わったばかりなので一つ一つの授業の概要については今後の報告書で書いていけたらと思います。

2. 生活の状況

● 寮の変更

後半戦に入ってから寮を変えました。といってもどちらもキャンパスの中にあって、管轄は同じなのですが、生活のスタイルががらりと変わりました。今まで夕食をキャンパス内のカフェで食べられるプランで簡単な調理しかできないHallというところに住んでいたのですが、現在はApartmentという5人で共有のキッチンがあるところに住んでいます。右の写真は自分で焼いたステーキで



す。牛肉が日本に比べたらお手頃なので、たまに食べています。またリビングルームは共有ですが1人部屋はあるのですごく快適な生活です。ルームメイトは国際色豊かで、アメリカ、韓国、中国、インドからの留学生と暮らしています。個人的には寮を変えて正解だったと思います。Hallだと浅く広く友達になれるのですが、Apartmentでは深く相手のことを知ることができるし、文化交流とかもしやすいと感じています。

● 日本語のクラスのアシスタント

勉強の状況の方で少し触れたのですが、日本語を学ぶ授業にアシスタントして授業に参加させてもらっています。なにか募集があったとかではないのですが、シラバスから先生のメールアドレスを調べて、参加させてもらえないですか、ということをお願いしたところ、快く受け入れてくださったのでありがたい限りです。私が取っている他の授業は週合計3時間なのですが、この授業は5時間あります。しかし日本語の授業を取っている学生の多くは日本に興味がある人が多いので、コミュニケーションを取る時間が楽しく、とても楽しい時間です。中には個人的に日本語でメッセージのやり取りをしてくれる友達もいてチャレンジしてみてもよかったなと思います。

● 意識の変化

寮ではいろんなイベントをほぼ毎日開催していて、ボードゲームナイト、ドッジボールなどに参加しました。最近よく、自分の意識次第で楽しめるか楽しめないか、すごく左右されるんだなと感じます。先学期もたまにイベントに参加していたのですが、自分の英語に自信がなくて相手にどう思われるのかを気にして積極的にコミュニケーションを取れていませんでした。しかし最近はずいぶん間違えてもいいから楽しく相手に伝わればいいやと思えるようになって、いろんな人とコミュニケーションを取りやすくなりました。英語のドラマを空いている時間に見まくったことでリスニング力が上がったのでそれも自信につながったと思います。

まだこっちに来てから2週間も経っていないのでこれくらいですが、あと4か月、後悔のない



よう頑張りたいと思います！

←日本から友達が遊びに来てくれて、一緒にスカイタワーからジャンプしました！

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/3/4 ～2018/4/2)

先月授業が始まったばかりだと思っていたのに、あっという間に Middle semester break に入ってしまった。去年の今頃は奨学金の面接があったな。。とか、あと三か月で留学が始まるんだ、と期待や不安を抱えていた日々がとても懐かしく感じます。さみしいとともに一緒に留学を乗り越えた友人たちに会い、たまりにたまった話をするのがとても楽しみです。

ニュージーランドでは夏が終わりつつあります。先日サマータイムがしれっと終わって、あれ、さっきも2時だったのにまた2時だ、となりました。

1. 勉学の状況

Middle semester break が終わる前に3つの授業の課題提出が一気にあって、少し忙しい時期もありましたが、慣れのおかげか前期ほど苦勞せずに提出できました。授業自体も基本的には全ての内容がStream上にStudy Guideがあるので授業で分からない部分があっても復習すれば大丈夫です。

授業ごとの進行状況は以下の通りです。

●172.133 Introduction to Language Studies

この授業は、言語学全般の知識を学ぶ授業で、英語の音声や構造が前半では扱われていました。個人的には千葉大学で言語学の基礎知識を学んでいたもので、その応用という感じで楽しいのですが、一緒に授業を取っている中国人の友達は意味がわからないと言っていました。授業とは関係ないのですが、常日頃から思っていることで、日本人は文法を中学校・高校で嫌というほど叩き込まれているのでこういう英語の知識系には強いのかな、と思います。しかし一概には言えませんが、圧倒的に中国人はコミュニケーション力では日本人を上回っています。文法の知識がしっかりと身につけていれば何年か海外に住んでいれば後々正しい英語を喋れるようになるのだと思うのですが、その必要性があるのかは疑問です。街中で外国人に話しかけられても即座にコミュニケーションを取れる力と、どちらが大切なのか、考えさせられます。私は千葉大学で英語教育の勉強をしているので、文法教育とコミュニケーション教育のバランスについて考えなければならぬと常に感じます。近い未来に入試でスピーキングが導入されるのでそれに伴ってどう教育を変えるのか考えなければならぬな、と思います。

●172.235 Linguistic Analysis of English Language

この授業は、上記の授業と似ている部分が多くて言語学の授業です。ただ、200番台の授業なの

で、応用なのかなと思って取ったのですが、そこまで応用というわけでもなく…。授業を聞いていれば理解できるし、先生もとても優しいので天国のような授業です。

●172.131 Language and Communication

この授業はその名の通り、コミュニケーションとは何か、言語とは何か、を学ぶ授業です。抽象的で最初は意味が分からない部分もあったのですが、学んでいくと、面白いな、と思える授業です。先日提出した課題を例に挙げると、コミュニケーションが原因となって起こった航空機事故について考察する、というものでした。例えば Now we are at take-off をパイロットは離陸しますの意味で使ったのに対し、管制塔は離陸のために待機しているという意味で使ったと考えた、という事例を理論的に考察しました。後半も楽しみです。

とりあえず前半が終わったので2週間 break を満喫します！

2. 生活の状況

基本的に暇な時間は友達と映画を見たりカードゲーム(日本では大富豪と呼ばれているゲームが国によって呼び方が色々あって面白いです。Scum とか President とか…) したりしているのですが大きなことはないのですが、絞り出します(笑)

●ロードオブザリングのホビット村とワイトモ洞窟

私はロードオブザリングを一度も見たことがなくて、どんな物語かも知らなかったのですが、ニュージーランド出身の監督の代表作なので、行ってみようということで、友達とホビット村に行ってきました。その友達はロードオブザリングの大ファンなので一生懸命わたしに物語の説明をしてくれるのですが登場人物の多さに頭がついていけず、半分聞き流してしまったので、帰国したら全部見ようと思います。



ワイトモ洞窟は光る土ボタルで有名な洞窟で、ニュージーランドに来たらぜひ行ってほしい場所です。星がすぐそばにあるように感じ、とてもきれいでした。

●日本語の先生と仲良くなりました

先月の報告書で、日本語の授業にボランティアで参加していると書いたのですが、その先生が本当に優しい方で、ランチに連れて行ってくれたり、おうちにまで呼んでくれたり、勝手にお母さんのように思っています。日本語の授業でも、毎回隣に座る人を変えるように心がけていたら、友達が増えてきて嬉しいです。いつかここで友達になったマッセイ大学の学生さんたちが、日本

に来てくれたら嬉しいな、と思います！



●イースターホリデー

日本にいたときはイースターといえば、ディズニーランドでエッグハントすることぐらいしか知識がなかったのですが、キリスト教ではとても大きな祝日だということを知り、びっくりしました。写真はスーパーに並んでるウサギ型のチョコです。日本では宗教的に大切な日が祝日になるということがあまりないし、祝日でもスーパーやショッピングモールが閉まることはあまりないので、ほとんどのお店が閉まっていたことには焦りました。。。それと関係あるのかはわからないのですが、寮の電気すら一日使えなくされていました。

4月3日からクライストチャーチとカイコウラという場所に行く予定です。来月、きれいな写真を楽しみにしててください😊

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/4/3 ～2018/5/5)



毎月言っていますが、月日が経つのは早いもので。。報告書を書くのも残すところあと一回となりました。帰国したらすぐに実習が始まるので残されたニュージーランド生活を有意義に過ごしたいと思います。

1. 勉学の状況

ミドルセメスターブレイクが終わって授業も全12回のうち8回が終わりました。他の大学ではどうなのかわからないですが、マッセイ大学はプレゼンとか発表は一切なく、本当に講義と課題だけでどれくらい授業の内容が理解できているか、深く考えられるか、だけで評価されるので、平等といえば平等ですが、もう少しコミュニケーションのある授業だったらもっと楽しかっただろうな、と感じます。

今期取っている3つの授業内では特に変わったことはなく、毎回授業に行き話を聞いて、課題をやって、という感じです。最近は各授業の課題の提出期限が迫っていて、少し忙しい日々を送っています。一つ一つの課題が重いということは前も書いたのですが、今期もそれは変わらず、1500語とか1200語とかのエッセイがぼんぼん出されてひいひい言いながら格闘しています。しかし最初に来た時に比べれば少ない時間でかけているのも事実なのでそういう面では自分の成長に嬉しく思うこともあります。やっとひとつ課題が終わったのにまだ2つ残っているのだから勉強する日が続くと思います。。終わったらすぐテスト期間だし、よく考えたらもうあっという間に帰国日になってしまうので、本当に後悔のないように過ごしたいと思います。

2. 生活の状況

● クライストチャーチ、カイコウラ旅行

ミドルセメスターブレイクが2週間あったので、その期間を利用して、ニュージーランドで行きたいと思っていたところは全て制覇してから帰ろうと思い、南島のクライストチャーチとカイコウラという場所に行ってきました。クライストチャーチは日本の東北の地震があった少し前に大きな地震があった場所です。今も復興途中で、いたるところで工事が行われていました。しかしとてもきれいな街で、心が浄化されました。



カイコウラはガイドブックで、ホエールウォッチングが有名な場所ということで生のクジラを見てみたい！と思い、クライストチャーチからバスで3時間ほどかけていって見ました。ホエールウォッチングのツアーを予約して行ったのですが、その日はクジラがツアー会社の領域の外にいるからキャンセルされてしまい、代わりにクジラ以外の生き物を見るツアーに変更しました。イルカやアシカ？オットセイ？よくわからないのですが、野生のいろんな動物を見ることができて本当に幸せでした。次の日にはイルカと一緒に泳ぐツアーに参加し、ウェットスーツを着ているかと一緒に泳ぎました。しかし船酔いがひどすぎてイルカどころではなかったです(笑)



そんなこんなで今回の旅は終わりました。これでもう国内の行きたいところは制覇したので悔いはないです。

● 日本人団体のボランティア

私がボランティアでアシスタントとして参加させてもらっている日本語の先生に誘われて日本人の団体が資金集めのために開催したイベントのお手伝いをしてきました。結構大きな団体でびっくりしたのですが、たくさんの日本人の方と知り合うことが今までなかったので、新鮮でした。意外とワーキングホリデーで来ている方が多くて、同年代の方も何人かいて、楽しい時間を過ごせました。私は折り紙コーナーの担当だったのですが、折り紙の手順を英語で説明するのが難しくて雰囲気でもやりましたが、子どもが喜んでくれたので、結果オーライです。



● カップケーキデコレーション選手権

寮のイベントにもたまに参加するのですが、カップケーキをデコレーションするイベントがあって参加してみました。これが私がデコレーションしたのですが、なんとも言えない仕上がりです(笑)。でも現地やアメリカからの友達を見ているとめっちゃくちゃテキトーにやっている子もいて面白かったです。



という感じで、勉強に追われつつも何とかプライベートも楽しみつつ生活しています。もうそろそろ日本に帰国する友人もいるので、帰ってから、いろんな話をできるのが楽しみです。また来月、最後の月間報告書を充実させられるように頑張りたいと思います！

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/5/6 ～2018/6/5)

こんにちは、ニュージーランドでは秋が深まり、柿を堪能している今日この頃です。

留学が始まったころは早く帰りたいとか、まだあとこの4倍あるのかとか考えていた時もありましたが、気づけばもう最後の報告書を書く時期になってしまいました。月日がたつごとに慣れてきて、だんだんと楽しめるようになってきたおかげか、振り返ってみるとあっという間の11か月だったなと感じます。



1. 勉学の状況

授業すべてが6月の初めで終わり、現在はテスト勉強期間に入り、勉強に力を入れています。3つの授業のテストは6/12, 21,22にあい、帰国日が24日なのでぎりぎりまでテストが残っているのが憂鬱ではありますが、少しでも楽しい思い出を増やして帰れるように、今から勉強をして帰国前には友達と遊ぶ機会を増やしたいと思っています。

テストは先学期に経験していて、また、先学期よりも英語に対する不安も軽減したので、自分なりに成長できたのかなと思います。

2. 生活の状況

最近は嵐のような天候が連日続いていて、外出する機会がとても少なかったです。なのでフラットメートとリビングで映画を見たり、部屋でぐうたらしたり勉強していたことが多かった気がします。。。

なので最後であるのにも関わらず大きなことを書けなくてふがいないのですが日常を書いています。

● 日本語スピーチコンテスト

先日、ニュージーランドの大学生が出場する、日本語スピーチコンテストの応援に行ってきました。マッセイ大学には3つのキャンパスがあるので、他のキャンパスともテレビ電話をつないで、他のキャンパスにいる学生さんの発表も聞きながら、応援していました。私の勝手なイメージでは、外国の人は人前でも緊張しないイメージだったのですが、発表を待っている時にもすごく緊張していた学生さんもいて、なんか安心しました。私がアシスタントさせていただいたクラスの学生さんも一人参加されていて、その方は日本とニュージーランドのハーフの方なので、

とても上手でした。また、今秋から、日本の大学に留学する学生さんが日本でしたいことなども話していて、嬉しくなりました。

● 初めての病院

健康だけが取り柄の私は今まで一度も留学中に病院に行ったことがなく、このままお世話にならずに終わるんだろうな、と思っていたのですが、教育実習に参加するのに胸部 X 線の検査をしてきてくださいということで、健康だけ病院に行ってきました。正直、自分の英語に完全には自信を持っていないので、病院はハードルが高いなと思っていたのですが、意外と大丈夫だということを実感できて、少し自信につながった気がします。無事結果異常なしだったので、帰国してすぐに教育実習に参加します。ちなみに検査は保険ではカバーされないので自費で痛い出費でした。。

● Band Night

マッセイ大学にはキャンパス内にバーがあって、先日バンドナイトというイベントがあったので友達と行ってきました。生のバンド演奏は迫力があったのですが、混雑していて熱気に耐え切れず1時間で帰ってきて、ジェンガや卓球をするという終わり方でした。ちょっとおしゃれしていったのに無駄になった気がしました(笑)



● まだ行ってないけど。。

9日にやっと、All Blacks の試合を見に行きます！！
まだ行ってないので書いていいのか迷いましたが、最後の報告書なので今しか書けない、と思い書きました。世界最高峰のラグビーをこの目にしっかり焼き付けてきます！！とりあえずラグビーのルールを学ぶことから始めます。

今月はこんな感じでした。

帰国後報告書で留学を終えての気持ちなどは書きたいと思っているので、ここでは書きませんが、今は、もうすぐここには戻ってこなくなるんだな、という寂しい気持ちと、帰って友達や家族に会いたい気持ちと半々くらいです。残り三週間、全力で楽しみたいと思います！